タン・ダモダ

ヒマ

・ール

8 峰 が m パン 0 ネ 06 年 初登頂に 1 パ ij ル 加藤好美隊長ほ ヒ 成 ナ 勁 マ ノスル 1 09 ル 年、 Ш 峰 蔵本悠 群 6 7 7 か 0 未

日

1 出発間際の学生部女子によるムスタン登山隊。 スブックなどでもタイムリーにレポー トされていく予定です。 登山の様子は、 フ I 学生部女子ムスタン登山隊20

1

Щ

岳会

1

1

0

周

年

-記念事

井上由 樹

マ

ナ

Ź

ル

山

群

0)

パ

史隊長ほか4名がネパー 記念事業の2004年秋、 の未踏峰登山に挑戦。 学生部では過去10年の いただけることになりま 峰6650m :未踏峰に挑むチ 1 ĺ 0 ′山群 车 'n 0 節目に私たち 未踏峰チブ・ 1 0) ル、)初登頂 0 間 和田 /ヤンス 0 ムス 周 4 岳 军 4 口 ました。 伝統を継 頂に成 たしまし 介隊長ほ 外功。 动。 か5名が

女子学生が

Α

C 1

試みとなる学生 の未踏峰6165 ほか4名が 未踏峰サムド峰6335 後にクト が承し、 た 私たちはこの 12年秋、 ゥ インド・ ŕ. 学生部(|部女子隊を編 カンリと命 m ザンスカ 0) 大堀 初登 で初 す ばら m め 頂 0) 名し ĺ 成 7 E 1 初 0) 15 登 ル 登

る中 首都 目的 の 玉 口 1 Ш チ 々、 Ń 7 は、 ツ ン タン 1 ع 旧 ō から北西に広 4 ス 玉 |境線上 タン王 玉

上げ

は、

れまでの

学生

部

の伝統

べて自分たち

Ō

力

け

で、

3 つ

0) す

未踏峰

の縦走登山

主

が

線 置 m 上に位置する政 は古くから しま す。 7 Ò 知 ン まま残され 5 セ 治的 れた 1 ル な理 山 峰 で、 62 て 由 玉 で 4

ても、 規則になっており、 許可を取得しないと入域できな ばれてい 解禁されるまで「禁断の王国 ールが この地 れるチャ 静 は廃止さ В C かで生きたチベ 郡となりました。 ネパー か ら上部 連邦制に移行し ました。 は れ、 ンスと思って 1 9 9 ルに残された数少な 0 ダウラギリ 2008年にネ ル ット 私たちにとっ 1 年に外国 現在も特別 ŀ 工 ζ, たため王 /県ムス ます。 作 」と呼 :や荷

今日まで 2

隊員であることを自覚し、 学ぶ国立登 ヒ 指し 安全面では私たちが登 マラヤに向 H 本の じます。 登山界を牽引する谷 Щ 研修 私たちも かうこととします 所 の講 名 師 Щ は でも 技術 謙 U 未熟な 虚に 7

予報士の猪熊隆之さんの協力も得 ラヤを越えるアネ ただけることになりました。 れていることを知りました。 いさん 頂に立ちたいと願 過去、この 緒に全力を尽くしてムスタン 私たちもぜひアネ が顧問として参加 山域で先輩方が ハヅル つて ハ ヅルたち を目撃さ ・ます。 ヒ

歯

子ムス 隊の名称〉 催 タン登山隊20 公益社団法人日本山 H 本山 岳会学生部 1 兂 女

2014年(平成26年) 8月号(No. 831) 公益社団法人 本 山 둆 会 The Japanese Alpine Club 定価 1 部 150 円 会員の会報購読料は年会費に 含まれています URL http://www.jac.or.jp

目 次

e-mail jac-room@jac.or.jp

<日本山岳会110周年記念事業>				
学生部女子 ムスタン登山隊2014	1			
韓国レンジャーとの交流研修会通訳としての参加報告・・	3			
JAC組織の一部見直しについて・・	4			
寄付金および助成金などの受入について・・	5			
第34回一般社団法人日本登山医学会学術集会開催される・・	6			
会報「山」への投稿について ・・・・	7			
追悼 木下是雄先輩を偲ぶ・・・・	8			
藤本慶光元副会長を偲んで・・	9			
東西南北 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	10			
活動報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	12			
集会委員会				
支部だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13			
東京多摩、埼玉、山梨支部				
図書受入報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	14			
会務報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	15			
ルーム日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16			
会員異動	16			
新入会員 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17			
INFORMATION · · · · · · · · · · · ·	17			
日本山岳会所蔵資料紹介 No.13 · ·	19			
編集後記	19			
▶日本山岳会事務(含図書室)取扱時間				

水・金・・・・・13~20時

第2、第4土曜日……閉室

第1、第3、第5土曜日……10~18時

2 m

マンセイル南峰6251

4 m

峰登山を実践。各学生が学術テー 登山の理解を深める。 マを持ち、広い視野を持つことで 〈目的の山〉 学生部の海外登山 ネパールヒマラヤの マンセイル峰62 未踏

ル、 ポカラ(空路)カトマンズ10 9ジョムソン (空路) ポカラ10 カルカ、 17~(徒歩)ニャムド、 路) ジョムソン(徒歩) カグベニ9 トマンズ (空路) 10 m ズ(空路) ポカラ9/10ポカラ (空路)カトマンズ9 〈期間〉14年9/5(金)~ ムスタンヒマール峰6195 (月) 39日間(行動日程) 8 √11~(徒歩)チュレ、サマル、ギリ ムソンまで復路キャラバン10 9 ルを縦走10 ツァラン、ローマンタン9 マンセイル南、 /22~登山活動開始マンセイ ベースキャンプ5134 /2~ (徒歩・車)ジ /13日本着 ムスタンヒマ /9カトマン 4 6 2 2 m /5日本 10 12 13 10 (空 力

1

か2人 42 歳、 現 地スタッ フ・サー ダ 1 ほ

時

18時

3Ò

分開場

国内460万円 00万円 合計920万円 〈予算〉収入 助成金300万円 合計920万円 個人負担金120 国外460 寄付金5 支出 方円 屰

(壮行会のご案内

たく、 をいただければ幸いと存じます。 存じますが、ぜひご出席いただき します。皆様にはお忙しいかとは 日(水)19時から壮行会を開催いた 日は迫っておりますが、 記 ムスタン登山隊員への激励 8 月 27



-マンタンよりムスタンヒマールを望む

振込取扱票(赤色)にてお願いいた

します。

公益社団法人日本山岳会

学3年、 大学4

アドバイザ

ĺ

谷口

け

告で所得税等が減税されます。

されていますので、

個人の確定申

は税額控除対象の公益法人に指定

一島夏帆

21歳

弘前大

大学4年、

長谷川恵理

22歳

価

中

村眞理子22歳

筑波 創 L井上由樹子24歳

武蔵野

5·申込: jacmustang2014@gmail.com 4・交通:りんかい線・国際展示 3.場所:武蔵野大学 場駅・徒歩7分、 パス3号館1階 $\begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{array}$ 国際展示場正門駅・徒歩6分 メールで件名に「壮行会申込」と 一般 5 0 学生ホール ゆりかもめ 0 有明 0 川 丰 学生 ヤ

(寄付のご案内)

7 0 7

募金額の目標に考えております。 生部2隊合わせて1000万円を を心よりお願い申し上げます。 きたく、 支援を皆様にご案内させていただ とになりますが、 続して学生部遠征隊を派遣するこ パール遠征を計画中です。 ます。来秋には学生部男子隊もネ 活動は追って告知させていただき ご寄付の送金はゆうちょ銀行 110周年記念事業本体の募金 どうぞ、 ご理解とご支援 遠征資金の一部 2年連

記入してお申込みをお願いします。 口座記号:00180-4-76 ださいますようお願いいたします。 ご寄付をご協力いただける場合は、 ださい。なお、 000円以上、 お手数ですが事務局までご連絡く のご案内」パンフレットをご覧く をお願いいたします。詳細は「寄付 員番号を必ずご記入の上、 る方は、住所・氏名・電話番号、 金控除の適応を受けることができ 法人では税額控除または寄附 税額控除手続きを希望され 100万円以上の 一口以上のご寄付 — □ 5

ご寄付問い合わせ先: 通信欄:日本山岳会学生部登山隊 加入者名:日本山 番号も必ずご記入ください ※ご住所・氏名・電話番号・ 岳会寄付 \Box 座

日本山 田区四番町5-4 $\overline{1}_{02}^{-0}_{08}^{-1}$ ムスタン登山隊2014」事務局 110周年記念事業学生部女子 岳会内 公益社団法人 東京都千代

1

4

4 3 3

中央左渡邉所長、その右金院長と韓国研修班

Korean Report

韓国レンジャー 訳としての 参 **加報告** غ の交流研 修会

東海支部

村

越

修会が開かれました。 ら研修班6名をお迎えして交流研 研修院・金哲洙院長はじめ韓国か 春山) Iの 国 2014年5月13日~ <u>寸</u> に韓国国立公園生態探訪 登山 研修所講師研修会 16 Ħ 立

山

この交流事業は10年から始まり

稿をいただくことでお引き受けし 式なセレモニーの挨拶は事前に原 日中韓学生合同登山交流会で支援 訳ができる人」という照会があり、 の講師研修会を開催することにな で開催した講師研修会への参加で ました。 相互に行き来して研修を重ねてき 合わせがありました。 している私にJAC本部から問 ったため、JACに「雪山登山と通 したが、 これまでは登山研修所内 今回は5月の剱岳で春山 念のため公 13

ことで、 訳していただけたので助かりまし 影響を受けて一時は中 た金女史(農学博士)が同行された れましたが、 4月の旅客船セウォル号事故 金哲洙院長のご挨拶を通 日本で砂防を学ばれ 止も危ぶま 0)

界のトップクラスの人たちです。 講師研修会への参加者は富 さらにピオレドール賞受賞 . 勝丘氏もおられ、 岐阜県警の救助隊 日本や世 山岳ガ 山

イド、

が横山



剱岳頂上 (2998m)に立つ

喜びに浸ることができました。 で登頂を断念した隊員も出ました 死でした。 ますので、 日で行動できるほどの体力があり ら剱岳を登頂しました。 術の実技研修、 般登山者が3日で行く行程を1 ときにちょうど晴れて平蔵谷 一剱沢前進基地付近で雪上確保技 残雪の剱岳を登頂でき、 日は研修所内で座学、 私はついて行くのに必 韓国研修班は体調不良 3日目のアタック 講師陣は 2 日 皆で か 目

ました。

0)

は

初

者が日本で登山をするにあたり、 イドを頼む考えはありますか」と [難事故防止の観点から日 (から韓国研修班に「韓国の登 夜のミーティングで渡邉雄二 本人ガ 山

> しいのでは」と補足しました。 いう質問 な回答がなく、私から「費用的に難 があり、 その場では明

のことでした。 なる」と話したところ、頼みたいと らいとのこと。 い」という話が出ました。通常12名 合の費用と連絡先を教えて欲 修班から「日本人ガイドを頼む場 4万ウォン/人くらいのアップに 会メンバーがいたのでご紹 岳ガイド協会認定の立山ガイド協 ツアー代が160万ウォン/人く 保険料すべての費用を人数で割り、 で 1団体とし、 日本人ガイドを頼め 翌夜交流しているときに韓国 参加講師に日本山 チケット・宿泊・ ば1日3~ 介し 研

ました。 班からは丁重なお礼の言葉があり の登山技術の伝達もできるものと 難防止とともに安全で楽しい日 いますが、 イド依頼の話も出てきたものと思 を行ない、それを聞いた韓国研修 国人の遭難事故で4名の遺体収 は昨年、 歓迎します。 また、 中央アルプスで起きた韓 昨年の経験から日本人ガ 参加した長野県警の隊員 今後こうした交流で遭

の残雪が多い雪山での安全確保に 韓国研修班の方々は、 日本特有

とい を覚えていただき、 Н 達成感を得られたことと思います。 L つ |本側メン い山に登頂できたことで満足感 いう日 ての 本でも大変すばらしく厳 研修を行ない、 バーにも簡単な韓国 今後相互に協 また剱 語 岳

> す。 良い と思い 役立 交流ができて感謝しておりま っ 、ます。 す 登 ばら 山 事 私も大変勉強にな 故防 しい研修会になっ 止と安全教 育に た り

Information

AC組織の一部見直しについて

会長 森 武昭

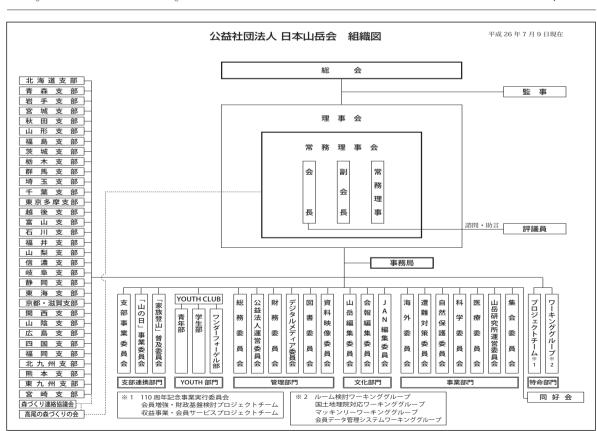
の内容を以下に報告する。 実施に移されることになっ の案が7 するよう、組織の一部を見直し、 岳会を取り巻く状況に適切に対応 でも述べたように、 6 示した 月の総会資料で現状の 総会での質問に対する回答 月度理事会で承認さ (会報の 現 7月号にも掲 在の た。 日本 組織 れ 7 そ 図

新たな日本山岳会組織図に沿って、今までの組織との変更点を述 で、今までの組織との変更点を述

という期間限定的な組織だったも ②今までPT の各支部の位置付けを明確にした。 いなかった点を改め、 かかわらず、 ①支部の役割が増大しているにも ム)やWG の中で、 今後継続的に事業を展 (ワー 支部名が明 (プロジェクト キンググルー J A C 内 で 示されて チ フ

> 携部門 5 れは、 組 開していくかを検討 員会」とし、支部で行なう事業を引 密接に関係しているので あ としては役割を終えたからである。 ら祝日となることが決まり、 会に改めた。 開する必要のあるものを常設委員 山 かし、 |織として新たに発足した次第 2つ目は、 続きサポ 支部活性化PTを「支部事業委 か 0) が É 」という枠組みとした。1つ 山 今後どのような運動を展 重要であ 』事業委員会」とした。 の日 1 いず トする組織とした。 山]がすでに再来年 の日 ŋ れも支部事業と Ų]制定PTを そ のため 実践して 支部連 Ρ 0 Τ か

ここ2年間、国からの助成金を得を「『家族登山』普及委員会」とした。3つ目は、「家族登山」普及WG



円滑に運営されるよう努めてい 本山岳会の各事業が今まで以上に 今回の組織改正を踏まえて、

Н

受入日

平成26年

6月6日 平成26年

7月1日発表

平成26年

7月1日発表

平成26年

7月2日

ものに改めるべく、ここ数年試行 とは、 せて、会のニーズに対応しやす ④会員のデータに関する管理シス であるため、 業とともにJACの中核となる組織 3 Y O U T H 寄与するところ大であると考えた。 ページを立ち上げた。それを受け て支部の協力の下に立派なホ 作業を本格化させる必要があり、 してきたことを受けて、 テムは、ソフトの更新時期に合わ せて、その重要性を明確にした。 を生かした事業を展開していくこ て、内容の充実はもとより、 中長期的にJACの活動に 事業部門から独立さ CLUBは、 いよいよ 支部事 、これ i Ĺ 13

題となった。 が、最終結論に至らず、 についても意見が出され検討した 尾の森づくりの会の位置付けなど 程では、広報委員会の必要性や高 以上が変更点であるが、 今後の課

寄付金および助成金などの受入報告

寄付者

首都圏会員・理事

国土緑化推進機構

国土緑化推進機構

公益社団法人

公益社団法人

首都圏会員・

評議員

体の は、 平成26年7月9日 日本山岳会への寄付金および助

Information

寄付金および助成金などの につ () 7

成金は年々増加して、 ご寄付をいただいた個人と**団** 2749万円となって収入全 26%を占めるようになりまし 平成25年度

その他 ネパール・チュルー遠征隊へ 緑化再生プロジェクト

ぜひご覧いただくようお願い 封してお届けしておりますので、 トを作成しました。 トのご案内のために、 の寄付の方法および税法のメリッ されます。こうした日本山岳会へ 付金額の約40%相当の税額が減免 定申告を行なうことによって、 本山岳会への寄付は、 会員の皆様、また個人の方の 平成26年6月の総会資料に同 会員の皆様に リーフレッ 所得税の 寄 確 H

担当理事には、

この方面に精通し

金額(円)

1,100,000

590,000

20,000

人理事に就任して

ただいた。 ている山田和 新たにWGを設置することとした。

寄付の目的、

猿投の森の整備事業

E宅島復興支援/

埼玉支部

東海支部

100,000 寄付口座へ受入

に会員の皆様に受入状況を知って ております。 年度の事業報告書に要約を記載 た寄付金および助成金については、 団体等から日本山岳会が受け入れ 会員の皆様、 理事会に報告しており、 しかし、 また外部の個 タイムリー

税額控除法人の認定を受けた法人 全国の公益社団法人3850の内 できました。 額控除法人の認定を受けることが 成25年9月には、 体は300を超えております。 わずか179法人です。 ちなみに、 日本山岳会は税 現在まで 平

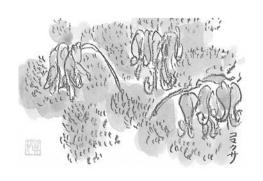
ご寄付された方のお名前を「山_

方が公表を望まない場合を除いて、

とにいたしました。 約して「山」7月号から掲載するこ いただけるよう、 さらに今秋から、 理 ご寄付され 事会報告を要

り 引き継ぐために、 収入だけでは立ち行かなくなって す。 おります。 て顕彰させていただくことにしま よび年度の事業報告書等に掲載し うますようお願い申し上げます。 H 本山岳会は、 日本山岳会を次世代に 皆様 ぜひご寄付を賜 からの会費

財務担当理事 吉川正幸



Medical Report

第34回 会開催され 般社団法人日本登山医学会学術 る

求められる対応指針などを提言し の情報の共有や日本登山医学会に

不足を指摘し、

Щ

岳診療所

自由学園最高学部 専任講師 夏井 **正** 明

館は重要文化財で、都心とは思え れた。ライト氏の設計になる明日 明大会長(自由学園)の下で行なわ ない緑豊かな環境にたたずんでい 園明日館 医学会学術集会は、一般社団法人 日本山岳会の後援を受けて、 14年5月31日(土)・6月1日 (日)の2日、豊島区にある自由学 第 34 回 の (東京都豊島区)で夏井正 般社団法人日本登山 2

に恵まれ、約250人の大会参加 の恩恵に感謝する」を改めて認識 関わる人々に、どのような役割を する機会となった。 として制定する議案が可決された 月23日に参議院で「山の日」を祝日 果たすべきかを論じた。折しも5 を掲げ、 者の安全・安心を支える~ビギナ 者により盛大な学術集会となった。 直後ということもあり、 からト 大会のメインテーマには 「山に親しむ機会を得て、 日本登山医学会が登山に ップクライマーまで~ 両日とも晴天 祝日制定 登山 Ш

> ことから、途上国で購入する「飲料 は、 中にたくさんあるが、飲料水が出 蛇口から水が出てくる場所は世界 年にわたるネパールでの活動から、 造工場の紹介をした。 用の水」について、現地の飲料水製 てくる場所(しかも国内どこでも) ル&ビジター」と題して講演した。 ネパールの飲料水事情~ロー 大会初日、 日本をはじめわずかしかない まず夏井大会長が長

> > ス

トエイドは登山技術の一

部

で

られるとし、 理のできるサバイバル技術は求め 中のどのような条件下でも自己管 術水準は必要としないものの、 子を示し、 日本登山医学会山岳医の訓練の様 寛・山岳認定医委員会委員長は、 役割について講演した。 委員会の委員長が、それぞれ委員 会が登山医学の領域で担っている 医学会が担う役割」を基に、3つの シンポジウムIでは「日本登山 山に関する超高級な技 その知識 の 上小牧憲 範囲も示 Ш

エイド委員会委員長は、

「ファー

大城和恵・

山岳ファースト

った社会貢献の重要性にも言及し

述べた。山岳専門誌である『山と溪

の取り組みを示し、2004年

研究活動や教育活動と

問題点としてスタッフと資金

で行なわれる診療活動はもちろん

役割を明らかにした。

山岳診療所

から得たアンケート結果を基に、

岳診療所が抱える問題点や担う

員長は、

国内20ヵ所の山岳診療所

連携した処置活動の重要性を訴え 難現場から病院 (医療機関) までの 要な知識・技術・実践により、 適切な応急処置を行なうために必 るファーストエイド技術を紹介し、 の異なった山岳・野外で求められ す」と題し、都市部とは大きく条件

遭

臼杵尚志・山岳診療委員会委



盛会だった登山医学会学術集会

原浩司(山と溪谷社) 祈ることでは守れない。 処法を挙げ、 際のツアーにおけるチェックポイ 者(登山者)の安全を支える役割を くった。地図・出版の立場から、萩 ントを示した。 行ガイドラインの遵守を説き、 を示して解説した。 40年にわたる経験から多くの事例 高所トレッキングに参加する旅行 なった。 個人の違いや環境の変化に対応し スフェイス) が、「衣」を複数の重 が行なわれた。衣料の 安全を支える」と題して、 衣料素材や組み合わせの解説を行 た安全な山行のサポートについて、 ね着を前提とした編成を選択肢に 直接関わりのある領域からの発表 (アルパインツアーサービス株) 実態とメディアの役割につい シンポジウムⅡでは (ゴールドウイン・ 山行ツアーから黒川惠氏 最後に「山の安全は、 トラブル事例と対 が、 ツアー登山運 面 登 」と締めく Щ 配から川 登山者に ザ [岳遭難 Щ 実

中、そして下山後の体力(疲労)回 するか、登山の開始前から登山途 どのように効率良く必要量を確保 必要となるエネルギー源について を伝えきれない状況を述べた。最 復のサポートに至るまで、栄養素 本ウエルネススポーツ大学) 後に栄養の面から、石田良恵氏(日 安全登山への啓蒙活動などを紹介 編集の工夫、電子メディアの活用 にサプリメントを加えて解説した。 よる情報発信の限界と今後の課題 「山で役立つ栄養学」と題して山で 同時に山岳専門メディアに 初心者には肝心な情報 ガイドブック



論がなされた。カテゴリーは一 発展に希望が膨らんだ。 と多岐にわたるものであった。 る Security トレーニングと体力、登山におけ 診療・学校登山、高所生理Ⅰ・Ⅱ、 あり、それぞれの発表で活発な討 に分かれ、全部で29の口頭発表が 体的な対応を積み重ねたことによ を予測し、遠征前から一つずつ、具 た。「できること、起こり得ること らし、成功へと導いたかを解説し えるリスクをどのような戦略で減 た講演を行ない、多くの持病を抱 エベレスト登頂を支えた挑戦~リ 念講演では大城和恵氏が、「80歳 ったことも、今後の登山医学会の 表者に院生など若い研究者が多か スクをいかに減らすか~」と題し 登頂に結びついた。」と結んだ。 般演題発表は7のカテゴリー 、低温・水分、高山病」 山岳 発

これからもどんどん拡げていこ 登山医学に関する知識と経験を、 支えるために、我々の持っている 世界中の登山者の安全・安心を 学術集会の最後には中島道郎顧 「大会宣言」がなされた。

行事告知、

参加者募集など。

う。」という、 マを包含する宣言であった。 今大会のメインテー

邦和氏に奨励賞が授与された。 三氏に功労賞が、奨励賞には野口

記

総会では、浜口欣一氏と山本良

2月号で初めて山岳遭難を特集と

ガ~」と題する市民公開講座が行 援を得て、野口いづみ氏により「安 全な登山のために〜山の病気とケ 学術集会に引き続き豊島区の後

る講演であった。

なわれた。としま健康チャレンジ り、多くの一般来場者にとって登 プログラム事業としての講座であ 山の安全に関わる知識普及に資す

Information

会報「山」への投稿について

は出来上がりません。ぜひ多くの 寄稿いただく場合のルールについ てお知らせします。 会員の皆様から本紙「山」へ投稿・ た会員の方々からの投稿なくして 会報は全会員のものであり、 ま

ご自由にお書きください。 つき1000字程度)活動報告 エッセイや俳句、 短歌、 1点に 詩など

動の報告をお寄せいただきます。 や近況を載せます。 支部だより)インフォメーション 各委員会、 全国各地の支部からの 各委員会、 同行会、支部などの 同行会の方々から活

> ださい。 のフォーマットに則ってお書きく

▼締め切り

早めにお寄せください。 載時期はお任せいただきますが 調整します。紙幅の都合により掲 いて、 募集など締め切り日のあるものは 毎月20日までに届いたものに 翌月号以降の掲載を検討

投稿やご感想をお寄せください。

)東西南北

≥ jac-kaiho@jac.or.jp または事務局へ郵送





木下是雄(きのした・これお)

1917年 父益雄医博、母篤子の長男として東

1935年 旧制第一高等学校に入学、旅行部に入部 1938年 東京帝国大学理学部物理学科に入学 1940年 東大スキー山岳部の谷川岳一ノ倉沢遭

1941年 名古屋大学物理学教室に勤務、1949年助 教授の時、学習院大学理学部教授となる 日本山岳会入会(紹介者は不明)

鹿島槍天狗尾根遭難を期に、学習院 1955年 山岳部(GAC)部長

米国南極観測ウェッデル隊にオフ 1956年 ザーバーとして米国出張

日本山岳会理事

1971年 GAC積雪期早月尾根遭難を期に部長辞任 学習院大学学長、応用物理学会会長 1981年

1996年12月 日本山岳会名誉会員 . 2008年 認知症発症 2014年5月12日未明 天寿全う

OBITUARY

寿を全うされた。

長男の

彦さんも物

7理学者

14年5月12日午前3時、

静

下

13

口

|会いに行か

れ

温 りさん

か

11

とも夫人と長女のま

場に 1) 妻と共にゆきむしの末席に加わ ア 1 国 てい タン ĺ 集 「の旅の話をしたり、 0 ま やパ た。 スライ つ 7 タゴ ί, た。 F ニニア を見せ 私 0 É て貰 ゆきむ 定年 木下家で っ 後 'n た L は

たが 護老人ホ 感じた。 度も繰返され、 間した際、 ところが20 私が先輩の ほ か その後、 1 の病気もなく、 4 同じ答えが Ŏ スライド 入ら 同少し 8年 認 知 ħ 症 O7 総会の お か 判 特 度 か · つ 5 別養 しく ŧ ι, 崩 は 7 席 L

Ļ

仲間に大内力、

明 蓹 木下先輩は、

ゆきむし会」に属

いた。

族共々会合するのを楽しみにし

の年代別会に分かれ

毎年、 10 年単

家 位

するOB会があり、

6 て、

ĺΗ

制 高

旅

行部

には縦の

会と称

下是雄先輩

を偲ぶ

中村純

どがいた。

発はゆ

できむし

心総会の

合間にも、

ときどき仲間の家を会

のS状ル

・ゼを登っ 晚

た野沢豊吉な 高橋詢、

> と推察される。 たので、 あ イ ・タリ 稲田 ておられ、 られたが、 デ の 一大学理工学部の名誉教授で

先輩も大

いに満足だっ 後直ぐ帰国さ

た れ 4

0

0米級

0

山

に登

Ш 0 父君御逝去の

際には、

で、 えられる。 悔 者としての本領も存分に発揮 能されたが、 11 木下先輩は山 0) 当会でも十 な 15 生涯を終えられたと考 -分クラ 同 B 時に応 ・スキ ブライフを ĺ 用 が 物理 大好 き

理学者「 であった。 て、25年間『自然』に連載された インテリジェント 「の散歩道」は、 1 959年以来、 我々としても評価 口 ゲルギスト 寺田、 な科学随筆とし 若き気鋭 中谷以来 0) た 員と Ĭ 名著 0 物

術 は、 うわれる。 面 0 方中公新 山 記 ス 述 丰 は完全では 1 0 書 理 0) 論に ス キ な 留 か ま 0 つ ŋ 科学 たと 技

つも顔色も良くにこやか が週 かに天 看護 で O持する上での 交流され、 じ め 私ども理科生は、 西堀さん ク 功績 ラブ活動 や松方さんともよく は 大き 玉 産 \mathcal{O} 0) か 本質を維 力 つ た。

に改 が、 時宜を得た良書であった。 くくて悩んでい た中 計器は優秀で喜んで使 は理 良すべしという内容で、 ί, **一公新書** つも仕様書の説明 科生の 0 \mathbf{H} た。 理 本語力を根本的 科系 81年に出版さ Ò が つ 作文技 判 7 りに 誠に X 11 ラ

で登山 スキー な図 まで説か 晶文堂で出版された『山 一書といえる。 0) 3巻は分かりや れ 本質 気や怖さ、 当会にとっても 遭難防止法 す 13 ひ 言葉 有 لح

たりしていた。 着けて籠ノ登山に登ったとき、 鹿沢温泉に黒田正夫夫妻や麻生武 は会員に美味なチー í j Ø くらも交えて出 をふるまって、 山には余り出 きむしの会員 は、 か か け、 け 座を盛り 沢登 ズやウイ な シー か つ りや たが を ス 先 厳

が、 5 め 待しつ ħ 物 このたびの御 る その影響は 理 し上げる。 0) 0) では 分野 つ、 心 Þ なかろう 必ず からご冥福をお 逝去は誠に残念だ 般 社会にも Ŕ か。 当会はじ そ れ 伝

n 申

会員No.2563

京に生まれる(5人兄弟)

難の捜索に参加、その縁で同部に入部

1947年 3月1日

1960-65年

当会では加藤泰安、 初 見

雄

は

(ふじもと・けいこう)

僧階を得る

などを歴任

1984年・1994年 マッターホルン登頂

2014年6月8日 永眠 享年77

高野山真言宗別格本山遍照光 院57世住職の長男として出生

東京大学入学 スキー山岳部入部

繊維関係の仕事に従事し、その

後、2002年まで関連会社の社長

バルトロカンリ峰 (7312m) 初登頂

常務理事、評議員、副会長を歴任

東京大学経済学部卒

1997年10月 日本山岳会入会 その後、理事、

旭化成工業株式会社入社

藤本慶光

会員No.12660

1936年9月

1943年5月

1956年4月

1960年3月

1963年

藤本慶光元副会長 日本山岳会会長 を偲 んで 武昭

は遅く、 すばらし 大声 事務局の にJAC100周年事業として企 部で活躍されたが に関係修復 画した中 会担当)、 会直後から、 (総務担当) シップと事務能力を発揮 なお付き合 時には意見の違い 1年5月から理事 本さんは、 19 单 央分水嶺踏査では、 15 すこともあったが、 03年5月から常 を務められた。 人間性の 心人物として活躍され 97年10月である。 その類まれなリー いとなっ それまで以 東大の 当会へ お陰で、 でお互 Ź (科学委 キ その 務理 至に σ Ų] 本部 入会 彼 直 13 Ш 親 間 事 蒷 2 副 0 ダ 岳

その 09年5月に請われて

> 始まった法人化問題で 抱えていた自然保護委員会と高尾 、細則の の若返り 推進していた。 般法人を選択すべきだ」 森づくりの会の間を調整するな 一クラ 大活躍された。 理 事就任 総会で公益法人を選択する .困り果てていた。しかし、 行政 就 任し 改正などの作業は積極的 ブイズムを理念とするJ いから が必要との た。 時に年齢制限を設 げ 距離を置くべきで 特に、 それに伴う定款 た。 また、 方、 公益法人を 主張を繰 は、 彼はJ との論 議 貫 山 論 _ ₹ 理 返 À て ĺ が け

> > 会長に「副会長職を辞したい

ے

車

出たと聞き、

藤本さんの

真骨

頂

な彼は、

名古屋まで出向

き

尾

上 面 身

体は病魔に冒されていた。

几帳 彼の

しく弱音を吐くほどに、

1

ムへ行くのも辛い状態

だ

لح

谷駅

か

C ことが決まると、 指向していた尾上昇会長(当時) 陣を張った。その論理的組み立 A C は 日 る道筋を作り と舌鋒鋭い語りには、 7 定プ 口 ジ エ クト でも 当

そ の当 蒔 蕳 題 を に値するであろう 5 献身的に寄与され かし、そのころ|市ヶ

たことも特

筆

までじっと聞いていた彼の姿は今 親会での私の就任挨拶を立っ 長い時間を待っていただい 会・理事会が終わるまでの に付き添われて会場に来られ、 と言って、 会長職を引き受けざるを得 月には、 務理事を2年務め、 を見たような気がした。 「これが男の友情です お前の就任挨拶だけは聞 てしまった。この を見てい 彼の辞任と入れ替えで、 病院から奥様と御 ろいろな事情が たある女 、 る。 さらに 13 話を聞 ね。 この 性会員に、 す きた ばら かな た。 あ 私 なくな 13 た 部 って 嬢 は 7 総 ま 懇 常 始 0 様 6

> られたが、 年号)に投稿された。その を拙宅にも飾らしてもらっ 岳研究所のミニ水力発電 関係者からの高評を大変喜んでお 報13年11月号に記しているように、 にも造詣が深く、 ることで知られてい るなどの気配りをしてい 畄 河 息子が不慮の事故で亡くなっ 「の多い に飾ってある木彫り クは彼の作である。 ところで、 総仕上げとして、 最後に、私事で恐縮であるが、 病に苦しみながらも、 0) た父君を追慕するか 本当に遺稿になってしまった。 H を昨年の 慧海を支えた財界人とその 制 7 定協議会会長) ツ 本人も言っていたよう ター 藤本さんは多才であ Щ 彼にとって思 ホ 岳 若くして亡く ルンの陶板 る。 また、 Ο J A C)を紹 上高 (第108 彼は人生 小 のように、 反響を会 ただいた。 てい 屋 陶芸 地 る。 画 13 山 9

ぐんでし ました」と言っていただき でも瞼に残ってい 光景に出会って涙が出 て出 まっ 车 席され 12月の晩餐会にも病 たのを鮮明に覚えて

7

しま

まして

ί, ほ

ただい

た。

私にとっ

7 7

てい

た私たち家族を親身になっ

ときには、

僧階を持つ彼に読経

を

あげていただくとともに、

落胆

私に谷垣会員

であ

る

が

あ

る

が 0

今となっては、

その 思

つ

冥福を祈るの

は、 励

かにも数多く

0

新版 刊されました 日本三百名 山登山ガイド』全3巻が

① 北

海

道

一東北

東

北

海

道

N

利尻山など26

山

東北= 関

甲田

巻が完成しました。 版 本山岳会編・山と溪谷社刊) ご協力を得て進行してきました新 『日本三百名山登山ガイド』 春から全国各支部の全面的 全 3 日 な

ろ全3巻、そろって発刊すること 会員の皆様方もぜひお手に取られ 書店の店頭に並んでおりますので ができました。7月下旬には全国 となりましたが、お陰さまで先ご けしました。予定より2ヶ月遅れ クト・リーダーにはご面倒をおか 上げます。とりわけ、各プロジェ 努力をいただき、心より御礼申し 取材・執筆期間のなかで大変なご て、ご購入いただければ幸いです。 各支部には、1年間という短

日本山岳会編 新版 『日本三百名

山登山ガイド 山と溪谷社刊



新版『日本三百名山登山ガイド』

山 20 城山山 など40 山 ⊕甲信越/北・中央アルプス ~224頁 ⑤南アルプス/東海・北陸 アルプス=朝日岳など45山 信越=金北山など52山 中国・ 頁 鋸岳など19 Hなど25山 (数=各巻フルカラー 九州=英彦山など22山 中国 四国 関東=八溝 · 四 国 === 定価=各巻2300 山 / 九州 近畿=伊吹山など 東海・ 扇ノ山 福山など34山 日本と34山 南アルプス 北陸=天 北 2 0 0 「など 17 /近畿 甲 央

【購入方法

があります(定価の25%引き)。 なりますので、 注文には「専用注文書」が必要と と溪谷社のご厚意により割引販売 左記のFAX番号に日本山 、専用注文書をご請求下さ 日本山岳会会員の皆様には、 AX03-5213-6095 山と溪谷社営業部 岳会 山

、収益事業・会員サービス PTリーダー 節田重節

かにいないのではない

かと思い

その後57年に金峰

Щ (の麓 レリ

金山

木暮理太郎翁の

ĺ

日本山岳会の会章のデザイン

業績が愛されている会員はほ

佐私 1藤久一朗さんの1の大切な想い。 朗さんのこと 出

だけではなく、 よって、 みならず登山界への大きな貢献に けたり、 会以来会章のワッペンをザックに付 図案化した会章が大好きです。 れています。 のデザインになると聞いています。 活用しています。これは会員であ 多くの会員がこのマークを愛用し ャツやベストを愛用してきました。 ですが、 った佐藤久一朗さん(1984没) 日本山岳会には偉大な先輩が多 私は日本山岳会の略称JACを すばらしい山歴を持ち、 名誉会員の称号が与えら 佐藤さんほど日本山岳会 会章がプリントされたシ 佐藤さんはその一人 登山界に広く貢献 会の

加し、

ウェストンのレリーフにま

つわるエピソードを聞い

たときで

ウェストンの

レリー

フの製作

のは入会して間もなく、上高地

山開きでもあるウェストン祭に参

者は、

小槍や屏風岩の初登攀者で

紆余曲折があ

り、

現在の

レリーフ

は3作目で、

47年に梓川

右岸の今

の場所に設置されたとのことでし

作られたのは1932年、 もある佐藤久一朗さんで、

その後 最初に



会員の皆様のご意見、エッセイ、 (紙面に限りがありま すので、1点につき1000字程 度でお願いします)

S

業績のほんの一部にすぎません。

佐藤久一朗さんのことを知った

園の顕彰碑に移設)。 のレリーフは昨年山岳会から鳥水 れたことを知りました(小島烏水 にある藤木九三のレリーフも作ら 小島鳥水や芦屋のロックガーデン を知りました。それだけではなく 作者も佐藤久一朗さんであること するために、深田久弥さんたちに 日本山岳会の創設者の一人である 添える松方三郎会長の碑文を設置 |郷里高松市に寄託され、 行したとき、このレリーフの製 峰山 公

並々ならぬものと思います。 親しんだかを思えば、その功績 靴の草分けです。どれほど多くの 製品化されました。現在の軽登山 後に「キャラバンシューズ」として マナスル初登頂の陰の功労者です。 ム底の軽登山靴を開発されました。 全くそうではありませんでした。 んは彫刻家だと思っていましたが 、がこの靴に助けられて、 登山に **、登山隊のキャラバン用に布製ゴ** それ以来しばらく佐藤久一朗 大変なアイデアマンで、マナス は ž

とを話しておいてあげるから訪ね に相談するといいよ。あなたのこ ところ「そういうのは佐藤久さん あるときちょっとした小物を思 山岳会の大先輩に話した

> うのもいい。 アの宝庫でした。 ていましたが、佐藤さんのアイデ も悪いとも仰らず「いろいろなア が恥ずかしくなりました。 で見守りました。たった一つの思 早く図面を描かれるのを息を呑ん ういうのも考えられるし、 を逸してはと、下手な図面を持っ ね」と一言。事務所の中は雑然とし イデアを出して絞っていくといい いつきを後生大事に持ってきたの した。佐藤さんは図面を見て、 した。佐藤さんと直接話せる機会 直接お話したことはありませんで 方で親しみを感じていましたが、 とが何度かありました。気さくな んにはルームでお目にかかったこ てごらん」と言われました。佐藤さ 山晴社の事務所にお訪ねしま メモ用紙に次々と手 ああい いと Z

を愛する人々のために貢献され 佐藤さんの温顔のように思われま 章があります。 の真ん中に、それぞれJACの会 はスケッチクラブにちなんだ梅Ⅲ 作った旗はその真ん中に、 方でした。 す。会員だけではなく、 んの製作になる記念のペンダント スケッチクラブ20周年の記念に 私には会章自体 多くの 木村さ が

高 志』について 小集会で増補改訂版未完成 頭仁兵衛と

の経緯を語る

である。 の小集会で講演した」エピソード 未完成に終わった経緯を、 頭が『日本山嶽志』の増補改訂版 志歓談会で披露したもので、 石川後楽園涵徳亭で開かれた有 高頭仁兵衛の話は、 5 月 Щ 31 岳会 日 高 が

ことと、ドイツ文学者・池内紀の『 尾佐助」を紹介している。 水―高頭仁兵衛」と「今西錦 に関係する人物として、「小島鳥 として10人ほどを取り上げ、 た人たちで、著者が敬愛する宝物 ながら悠然と二番目の人生を送っ ば 列目の人生』を読んだことである。 ようになったきっかけは二つある。 『日本山嶽志』の著者であるという 筆者が高頭仁兵衛に興味を持 「第一人者と同等の実力を持ち 一列目の人生とは、著者によれ 司 う

ある。実は、その援助が18年間続 たが、高頭が年千円、10年間 て、 __ の援助を申し出た。 1905年の山岳会設立に当 番の心配は財政 剛毅な話 面 であ で1万 た

つ



本山岳会最初の事務所前で

って初めて明らかにされた。 たことが 『日本山岳会百年史』

は 上げた事実に驚嘆する。 代の青年が膨大な量の原稿を書き めて、木暮理太郎に後を託して から、資料や情報の少ない当時、 量が大八車二台分」あったとい る」と紹介。『日本山嶽志』の原稿 から会長に就任するが、 かない。山岳会でも34 社会に貢献はするが名誉職には就 後では中程度の豪農であったが 「列目の人生」では、 - 和紙に毛筆で書いた和綴じの (昭和9) 年 高頭を 二年でや う 20

員87人、会員外32人だった。講演内 演者は小島鳥水、 演するという豪華な集会であった。 長老7人が揃い踏みで、 いて」は白眉である。この小集会は 小集会で語った「日本山嶽志につ 頭が33 一高頭仁兵衛、 藤島敏男で、 (昭和8)年11月2日 武田久吉、 木暮理太郎、 参加者は会 各15分講 田 高 σ

> 容は会報30号、 旨を紹介する 頭の『日本山嶽志』についてのみ要 いるので、詳しくはそれに譲り、高 31号に掲載され 7

橋の下の文庫社を訪ね、 知れない もう少しよい本が出来ていたかも 年早く小島さんに会っていたら、 の横浜西戸部の住所をきき 本郷西片町に住んでいたので、 誌 『太陽』)を示された。 先生は小島さんの「白峰紀行」 量になったので出版したいと思い 山岳の記事を集めた。 を厳禁されたため、 で八海山に登ったが、 て出版をお願いした。 志賀重昻先生に相談したところ、 21歳で太郎坊から富士 地理書を漁り 私が一〜二 かなりの 母から登 / 私は当時 小島さん Щ 伺 22 歳 (雑 空 分 山

から山 嶽志の増補改訂版の両方が実現し 高頭は日本アルプスの案内記と山 者の話には若干の誤りがあっ 本を作るということで分かれ、 辻村伊助さんが自分たちも手伝う なかったことを述べている。 の話が続くが、 震災の年 次に本題の山嶽志の増補改訂版 話があり |嶽志を増補改訂しては如 (大正十二 有志閑談会での筆 私が二、 年 の五月、 三の見 た。 何

> 田 0) プスの総論を受け持った高野さん 0) 私が取り纏め役になったが、 初めのこと、 本を作れぬうちに大震災で辻村さ さんも東京を離れ、 玉稿だけで、 日までに手元に来たのは南アル プスの案内記を作ろうとして、 は亡くなってしまった。 山岳会幹部で日本ア 小島兄は米国に、武 結局お流れ 予定

> になっ、 たが、 小島さん、

北極圏の最高峰を登る 集会委員会

2 9

mで15番目くらい)

に変更し

て、里に近い岩山の

サー

ナ

 $\widehat{1}$

6月25日~フ月6日

ンドの光景をまず楽しんだ。

全員が登り、

平坦なラップラ

イン ルウェ 2 8 m 残雪の縞模様で覆われてい 眼下の様子がよく見える。 なのだ。 成田を発って、 ランド最高峰ハルテイ 悪い予感が当たってい 異常降雪のため入山不能 ー北極圏最大の町トロム にはまともな登山 翌日フィンランドに入る 白夜なので、 その日の内に 機上 大地 道 た。 13 一から が 雪 が ょ な フ

> じめ皆さんのご援助を賜り、 さんから山嶽志増訂 志の増補改訂版は出なかった。 を得て執筆してみたい。 講演では増補に意欲を見せて た。/ 残念ながら高頭による山嶽 武田さん、 つい二、三年前にも 0) 木暮さんは 話が あ り

動

報

日本山岳会の 各委員会、同好会の 活動報告です。

の岩壁 地に抜けた。 でクライミングを楽しみ、 を横断し雪稜より東面の200 ブネカイセ(2114m)は、 ビア半島の北極圏 プあり) スウェーデンの最高峰であるケ いピー 北面とも数百 (フィックス・ワイヤー の上部をハーネス着用 クに立っ さらに稜線をたどり、 m 切り立った雪 スカンジ 頂上台 でもあ

降り、 会員〉 時間で往復。 ている)。 年脇坂順一久留米大教授 う。参加15人中7人が登頂した。ほ るのはガイド登山の醍醐味であろ いてしまった。こんなことができ 小屋より140 かに3人がヘリで登頂(1966 トを替えて雪渓の尻セードで滑り 1 ヨルドの山々の ラップランドと氷食地形 が日本人で初めてといわれ 頂上より4時間で小屋に着 下りの下半分はルー 0mの標高差を11 展望が楽しめた G A C

ジナビア半島北部中央の、 エー、フィンランド、スウェ とも思ったし、 カイセはそのすぐ南隣になる。 の3国の国境交差地帯で、 連絡を受けた。 でフィヨルドや狭い海峡を抜ける 1000m級の岩峰が見渡す限り に広がる景色だった。昔の郵便船 なお、 ロフォーテン諸島、 海洋アルプスはノルウェー西方 |発直前にアイゼン携行不要の ハルテイの位置はスカン 今は沿岸急行船クルーズ 北極圏最高峰 ハーネス着用 氷食の結果 ノルウ ーデン ケブネ の説 ナで?

> このシーズンは白夜つまり夜がな 夜だった。 るいだけではなく、 はせず、 はメキシコ暖流が流れて冬も凍結 渓も軟らかく危険はない。 のストックホルム以外は毎日 た。北極圏の旅ゆえに、 な冷え込みのない白夜を実感でき いので放射冷却がなく、山中で、明 ェー沿岸の広い意味での北極海に って快適に登れた。 温暖な気候とか。 凍結するよう 帰国直前 そして、 ノルウ 1が白

セー F 0) よう。 して、 各国 けだった。 んに大粒の雨、 め合わせたが、

天候で高速道路があちこちで通行 に山梨県鳴沢村(富士緑の休暇村) 第3回目交流会を6月7日 止めになるなどで、遠方からの埼 東京多摩、埼玉、山梨の3支部は 生憎の豪雨という悪 山梨支部 8 日 部7名、 た。 第1日目 この交流会は過去2回

第3回3支部交流会

東京多摩、埼玉、

山梨日日新聞には取材特集とし

雪があっても氷結しておらず、

わず、

懇親会途中からの参加とな

玉支部の皆さんは講演会に間に合

行って見ると岩壁の岩場に残

明を受けて、

同様の疑問があった

で開催した。

ィンランド最高峰の分はほかで埋 厳選したプランのようなもの。 本の3倍の広さの中から3ヶ所を た。全行程での雨はこのときだ のほかスマートに楽しめた。 欧3国 より1ヶ所選んで、 下山して小屋に着いたとた 幸運の旅だったと言え 0 面積は日本 これが翌日まで続 北極圏最高峰は思 早川 つまり日 の約3倍。 そ フ

それぞれの活動状況を、 北から南へとリポート

全国各地の支部から

します。

どういうわけか天候に恵まれず何 ての講演があった。 き千年の森」 文彦氏による「青木ケ原樹海 は30名(東京多摩支部6名、 度か延期したことがある。 . 梨日日新聞社取 山梨支部17名)であ と題して映像を交え 各支部長の挨拶に続 材班 出席数 埼玉支 前島

懇親会では各支部持参の

)銘酒、

ワ

インなどで大いに盛り上がり、

楽

い歓談のひとときであった。

コース」に変更された。講演会後

 $\hat{\sigma}$

していた方の多くの

方々が

樹海

があって素晴らしい え取材者からの

もの

であった。

て記事が連載されたが、

映像に

生の

説明は臨場

感 加

そのためか翌日のト

レッキングで

|馬返~5合目コース||を予定希望



で続いているの

か

想像、

空想

界が広がる。

ない細い

氷穴の暗闇の先はどこま

いる所や氷柱があった。

人が入

れ

トレッキング出発前の記念撮影

間の

士スバ 道の馬返から5合目佐藤小屋、 F レ ル ッ キン ライン5合目 グ。 今までは利用す 駐 車場 言で 富

「馬返~5合目コース」 吉田 登 山 たりの状況であった。 を撮るころには、 に参加者全員そろっての記念写真

雲に隠れたり

出

近にはっきりと見えたが、

出発前

第2日目

早朝には富士山

前間

樹海コース」西湖野鳥の森公園

が、 る人が 時を偲びつつのトレッキングであ 半壊状態の茶屋などを観ながら往 にまつわるたくさんの遺構、 きている。 ずまずの天候であった。 つ 木が林立する中にあって、 れてからは徐々に利用者も増えて 昨 雨が一 车 めっきり少なくなって 整備された登山道は大 世界文化遺産に登録 時ぱらつく程度 富士講 13 0 全 • さ た

で説明 沢氷穴 での映 身を置き見上げると、 中を進み、 年を経てなった鬱蒼とした樹 てできた台地は、 64 から青木ヶ原樹海~ 鳴沢氷穴は足元や壁が凍 像と同じような景色が が 0 866年 であっ 散策コー 巨大な竜宮洞穴の た貞 $\begin{array}{c} 1 \\ 1 \\ 0 \end{array}$ の溶岩流によ 観 Ż, 噴火 竜宮洞穴、 昨 昨日 白 0年も 洒 この講演 の講 0 見 中 海 暦 7 え 演 \mathcal{O} 0) 8 鳴

圡支部のお世話で開催される交流 14時過ぎ全員が宿舎に戻り、 一再会を期して散会となった。 交流会は終了した。来年、 北原孝浩 2

会での

図書受入報告(2014年7月)

編著者	書名	ページ/サイズ 発行元	刊行年 寄贈/購入別
藍野裕之·森山憲一	キャラバン創業60周年記念 社史	64p/31cm キャラバン	2014 発行者寄贈
野口いづみ	山登りトラブル:回避&対処マニュアル	144p/17cm 大泉書店	2014 出版社寄贈
佐藤要 (編)	鳥海山を登る:夏から秋の登山道ガイド/山歩きの雑記帳	56p/26cm 佐藤要(私家版)	2014 編者寄贈
峯川正行 他(編)	岩つばめ:三峰山岳会 創立80周年記念号	123p/26cm 三峰山岳会	2014 発行者寄贈
日本山岳会宮城支部(編)	宮城県の山地及び丘陵における放射線量測定結果報告書	11p/30cm 日本山岳会宮城支	第 2014 発行者寄贈
高野秀行·角幡唯介	地図のない場所で眠りたい	294p/19cm 講談社	2014 出版社寄贈
五十嶋一晃	田部重治の登山と英文学:田部重治生誕130年	445p/21cm 五十嶋商事	2014 著者寄贈
長野県警察本部 (編)	山に祈る:遭難者の母親らの手記	60p/21cm 長野県山岳遭難 防止対策協議会	1960 田那村昇氏 寄贈
菊地俊朗	ウェストンが来る前から、山はそこにあった:地元目線の山岳史	278p/19cm 信濃毎日新聞社	2014 著者寄贈
日本森林インストラクター協会 (編著)	日本の森100:日本森林インストラクター協会選定	223p/21cm 山と溪谷社	2014 出版社寄贈
日本山岳会(編)	新版 日本三百名山登山ガイド(上)	216p/21cm 山と溪谷社	2014 出版社寄贈
日本山岳会(編)	新版 日本三百名山登山ガイド(中)	200p/26cm 山と溪谷社	2014 出版社寄贈
日本山岳会(編)	新版 日本三百名山登山ガイド(下)	234p/21cm 山と溪谷社	2014 出版社寄贈
武川俊二 (編)	ガイドの基礎的知識教本 (改訂版)	164p/30cm 日本山岳ガギ協会	会 2014 発行者寄贈
出川あずさ (編著)	雪の安全管理・雪崩対策技術教本	58p/30cm 日本山岳ガ作協会	会 2013 発行者寄贈
金田正樹 (編著)	山のファーストエイド教本	72p/30cm 日本山岳ガギ協会	会 2012 発行者寄贈
加藤智二 他(編)	山岳遭難救助技術マニュアル:認定ガイド編	48p/30cm 日本山岳ガイト協会	会 2010 発行者寄贈
新井美紀雄 他(編著)	ガイド・マニュアル:山岳ガイド編	153p/30cm 日本山岳ガ作協会	会 2010 発行者寄贈
日本山岳ガイド協会 (編著)	フリークライミング・インストラクター指導教本	124p/30cm 日本山岳ガイト協会	会 2012 発行者寄贈
Tenderini, Mirella	Tutti Gli Uomini Del K2	197p/22cm Corbaccio	2014 中村保氏寄贈

た。

〈賛成13、

反対なしで承認)

承認

議した。〈賛成13、反対なしで承認〉

会員数とすることについて審議し付金・事業助成金の基準を3月末



議事録平成26年度第4回(7月度)理事会

場所:日本山岳会集会室 21時15分 19時~

務理事、勝山・山田・野口・会長、高原・吉川・佐藤各常【出席者】 森会長、黒川・古野各副

理事、吉永・浜崎各監事大槻・落合・川瀬・直江各

【欠席者】節田副会長・山賀理事

(審議事項)

1・平成26年度支部への運営交付金・事業助成金および新入会員報 奨金の送金について 標記につき、別添議案により審 標記につき、別添議案により審 で記につき、別添議案により審

金審査について 2・平成26年度上期海外登山助成

成13、反対なしで承認〉 (計60万円)があり審議した。〈賛とおり5隊への海外登山助成申請とおり5隊への海外登山助成申請という。

3・日本山岳会学生部女子ムスタ

ては、 こととした。 う精査し、訂正した上で承認する との間で交わす覚書の文案につい 隊に同行する予定のアドバイザー れを追認することとした。なお、同 金額・募金などが決定されればこ として派遣すること、および助成 業実行委員会での審査が未済のた て審議したが、 らの申請内容(募金を含め)につい る女子ムスタン登山隊2014か 日本山岳会学生部が企画してい 同委員会において日本山 法的に問題の起こらないよ 〈賛成13、反対なしで 110周年記念事 岳会

〈賛成13、反対なしで承認〉
〈賛成13、反対なしで承認〉
〈賛成13、反対なしで承認〉
〈賛成13、反対なしで承認〉
〈賛成13、反対なしで承認〉

人会員としての加入について5・日本ブータン友好協会への法

た上で、次回再審議することとした上で、次回再審議することとしたが、一部文言等の指摘があっしたが、一部文言等の指摘があったので、財務委員会の意見を聴いたので、財務委員会の意見を聴いたので、財務委員会の意見を聴いる。

更について 7・組織および理事担当職務の変

た。〈保留〉

(表) 標記につき、別添議案により審議した。〈賛成3、反対なしで承認〉 標記につき答申があり審議された。現:星埜由尚(13985)新: た。現:星埜由尚(13985)新: 反対なしで承認〉 反対なしで承認〉 原対なしで承認〉 原対なしで承認〉 原対なしで承認〉

10・7月度入会希望者について

成13、反対なしで承認〉 名の入会について審議した。〈賛標記につき、別添議案により18

【協議事項】

思表示について(静岡支部)

南アルプスとリニアを考える市南アルプスと明ニアを考える市 日本山岳会の採るべき立場等につ 日本山岳会の採るべき立場等につ 日本山岳会の採るべき立場等につ 日本山岳会の採るべき立場等につ とを確認した。

【報告事項】

(吉川)(吉川)金受入れ2件、事前申請2件について別紙により報告があった。

3・平成26年6月29日、内閣存へいて報告があった。(高原)および会員からの主な意見等につおよび会員からの主な意見等についる。

3・平成26年6月29日、内閣府へ 算含む)の概要について報告があ 算合む)の概要について報告があ

比50%増(43名)と盛会であったと 要および新入会員の参加者が前年 新入会員オリエンテーションの概 5・平成26年7月5日に同好会連 の報告があった。 4・平成26年7月5日開催された (高原)

1回 報告があった。(森) 9月に支部登山指導者講習会 (第 6・支部活性化施策として、 席し、活発な意見交換を行なった との報告があった。 絡会議が開催され、 、第2回)を開催するについて 25同好会が出 (高原 本年

活況であったとの報告があった。 000人増の6650人となり で開催された「第2回夏山フェス 7・東海支部が協力して名古屋市 タ」について、参加者数が前年比2

9・(公社)日本山岳協会から、 との報告があった。 写真の再転載願いがあり許可した 書『岩登り術』およびウェストン卿 8・東京新聞出版部から、 (高原) 当会蔵 平

義後援の許可申請があり、 成26年11月に開催される「201 たとの報告があった(高原 4アジア山岳連盟 会」・創立20周年記念式典への名 (UAAA) 総 許可

・メールマガジン

「日本山

岳会

して、 だより」の第100号発行を記 ントを実施するとの報告があった。 を図るため、 メールマガジンの利用拡大 読者への記念プレゼ 念

事会に諮る等の事務処理上の注意 申込み書は毎月末締め、 12・入会申し込みについて、 報告があった。 介記事が掲載されることについ 11・「公益認定等委員会だより (8月1日発行)に日本山岳会の紹 (高原 翌月の理 入会 7

事項の報告があった。(高原) て報告があった。 13・ルーム清掃業者の入替につい について報告があった。 14・事務局横内職員からの休暇願 (高原 (高原)

3 日

家族登山」普及委員会

【連絡事項

文化協会 案内について 2 · 第 2 回 いて(山梨県、 山保全協力金 1・「弾丸登山自粛」 および 「森林環境」市民講座 静岡県 (公益財団法人森林 に係わる周知につ 「富士 0

9

Ě

理事会 総務委員会

休山

【今後の予定】

水 19 時 Щ 2 · 第 8 回日中韓三国合同交流登 1 · 山岳 4 団体懇談会 於 韓国 8月6日水~12日火 7 月 16 Ħ

11

21 3 · 支部合同会議 日(日) 9 月 20 H

 (\pm)

金16時 4·評議員懇談会(案) 10 月 17

る。 が、 5·平成26年度全国 (埼玉支部) (8月度の常務理事会は開催する 理事会は慣例により休みとす 10月18日(土)~19日(日) |支部 懇談 会

題 **/**>7月

2 日 1 百 常務理事会 総務委員会 C L U B スケッチクラブ Y O U 図書委員会 Ť H

8 日 7 日 5 日 4 日 スキークラブ 九五会 新入会員オリエンテーシ 同期会同好会会議 緑爽会 海外登山基金 フォトビデオクラブ \exists

10 日 自然学研究会 フォトビデオクラブ 山想俱楽部 山 [岳地 山 理 0

日 H 総務委員会 スケッチクラブ タ管理システムWG 資料映像委員 会員デ

14

H (00 会

17 16 15 日 日 日 18 日 三水会 青年部 つくも会 フォトビデオクラブ 科学委員会 「山の日」 委員会 みちのり山の会 スキークラブ **二事業**

19 日 委員会 緑爽会 デジタルメディア フォトビデオクラブ 事業委員会 公益法人運営委

23 日 遭難対策委員会 自然保護委員会 員会 海外委員会 麗 Щ

24 日 28 日 25 日 学生部 フォトビデオクラブ 山遊会

29 日 Τ 110周年記念事業実行P Y O U T H C L U B

31 日 二火会 U B 海外委員会 Y O U T Н C L

7月来室者

558名

会員異動(フ月分)

退会

7

5

巍 (5125)

菊田貞明 (9599) 東海刈屋敏彦 (7594) 岩手

渡辺恵美子(14552)

●編集長・辰野勇氏が語る―新生

図書委員会

山の世界は、『山と溪谷』『岳人』の2冊の雑誌が並走してきたといの2冊の雑誌が並走して新生『岳を迎えた今、編集長として新生『岳人』を率いる辰野勇氏に、雑誌『岳人』を率いる辰野勇氏に、雑誌『岳人』への想いとその目指すところを熱く語っていただきます。

問合せ 三好まき子 会場 日本山岳会104室

計画書=当会所定の計画書を8月

パーティのみをサポート

30日出までに郵送で。メー

◆第9回白山神駆道逆駆登山(荒

344mm@mbe.nifty.com

インフォメーション インフォメーション A 当会では9年前より毎年9月半 ず。37㎞を1日で歩くのを「荒行」、 2日かけるのが「難行」です。白山 禅定道歩きをぜひ体験してみまし よう。

歩ポート組織=白山神駆登山文化 日程=9月13、14日

サ

金沢市鈴見町郡家山50 宛先=〒920-1162石川県 しい

問合せ= 西嶋錬太郎 FAX 076-263-8

出発など=[難行登山] 9月 31 ニシジマレンタロウ

受付・

13 日

受付なし、石徹白美

濃禅定道宿泊地室堂で受 で受付け諸注意、 付け。[荒行登山] 9月13日 石徹白大杉駐車場 14日午前

到着受付日時・場所=9月14 24 時 日 13

·時以降出発

里野温泉の山小屋 難行、 荒行ともに石川県白山市

▼白神山地ブナ林再生事業&自然 青森支部

ちらで用意可 う。寝袋、食料必携。テントはこ の作業、および世界遺産地域コア ゾーンの原生ブナ林観察会を行な 林に再生するための除伐や植樹等 ーン周辺の生育不良杉林地をブナ 世界遺産白神山地バッファーゾ

日程

10月4日出~5日

(目)

集合 4日8時 道ゲート および10時半奥赤石 JR弘前駅城東 林

解散 5 日15 時 17時弘前駅送迎可 奥赤石林道ゲー

経費 なし 保険は各自持

ちで)

申込 定員 30 名

72-44-7237) かメ 電話番号、性別、年齢、 9月25日までに氏名、 36-0103平川市本町 場所を葉書かFAX 北柳田96−2∶⊠h.susuta@ ・ルで須々田秀美宛(〒0 $\widehat{\stackrel{0}{1}}$ 住所、

滋賀、 ◆第18回森の勉強会 東海3支部自然保護委員会 関西、 京都

gmail.com)へ連絡ください

場所 日程 共催 岐阜県土岐市鶴里町柿野 11月8日出~9日 (H)

時~) 生態水文学研究所長・蔵 かす」東京大学准教授、 「森と水の関係を解き明

1日目=座学

(11 月 8 日 13

柿野温泉」八勝園湯元館

②「猿投の森の土壌と植生 治光一郎博士

> 森林インストラクター・川 合

③「猿投の森の動物たち」自 氏 然観察指導員・南川陸夫

2日目=フィールド)東京大学赤津演習林見学 8時30分~) 9 Ě

②猿投の森「やまじ県有林

費用 宿泊 負担 約1万8000円 ·柿野温泉] 湯元館八勝園 講師料等 旅費は各自 (1 泊 3

申込 定員 申込み者に詳細案内を送ります。 10月10日金までに東海支部 30名 (先着順 biglobe.ne.jp < ° 5382 ≥ r-minami@ktf たは

III

III

III

0569-42-谷1丁目20-25 024愛知県知多市南粕 南川陸夫 (〒478-0 ハガキま

◆2014自然保護全国集会 自然保護委員会

広島市 山と人との関わり(仮題 (広島支部と共催で開催)

場所 テー

広島県スポーツ会館

(前夜

泊も可

日)集会(広島工業大学広島校) 11月22日(土)(22日晚泊付)

支部報告

域を元気に(仮題)_ 基調講演「里山資本主義で地

)懇親会(広島文化交流会館) 討議およびワークショッ プ

盟各団体と合同 〈日山協・HAT−J・UAAA加

費用 申込 10月15日までに、 22日(1泊)1万2000 mail で川口章子宛 〒27 を明記しハガキ、 日~の関連行事への参加 台4-43-1-102 4-0063船橋市習志野 希望と23日晩泊の要否 電話、 宿泊の要否、 氏名、 F A X 23 住 茁

援の山岳平和祭が行なわれます 日本山岳協会主催、日本山岳会後 *23日~は広島で関連行事として

· 23 日 A M 平和祈願祭

23 日 P M 自然保護委員会発表あり 記念行事 J A C

23 日 晩 晩餐会 費用別

*申込受付後詳細を送付します。 24 日 弥山登山と厳島神社

日本山岳会所蔵資料紹介 No.13

「資産番号」 00051 「資料名] 冠松次郎 「部門名] 写真

中村伊登子・児玉信子・富樫ヨーコ

「受入日] 2000年

冠松次郎 冠松次郎略歴 (茨木猪之吉のスケッチより)

1883(明治16)年2月 東京市本郷区本郷にて出生 1909(明治42)年12月日本山岳会に入会(紹介者:辻村伊助・川島録郎) 1917(大正6)年7月 劔岳より北西にのびる現在の早月尾根を初登攀 1925(大正14)年8月 黒部渓谷下廊下完全溯行 1930(昭和5)年8月 鹿島槍ヶ岳東尾根を初登攀 1970(昭和45)年7月 東京都北区にて逝去(享年87)

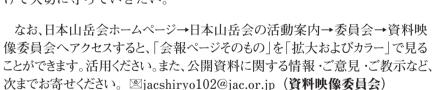


大正8年8月聖岳行の際に遠山 川で撮った初めての写真

日本山岳会史の中で第2期に活躍した故冠松次郎名誉会員(会員番号 237番)が、1919(大正8)年以降山行をするたびに撮りためてきたスチー ル写真の原板が、四男故冠郁夫氏の自宅から発見されてから17年が経っ た。主に大判のガラス乾板からなり、専用の3つの木箱に収納されてい る約750点にも及ぶ写真原板はご遺族から当会に1998年に寄贈された。 その後、当会から保存環境に優れた東京都写真美術館へ寄託されること となり現在に至っている。

この原板により、冠氏の名を一躍高めた大正末期の黒部渓谷下廊下や、 昭和初期までに登った北及び南アルプス等において撮影された当時の山 岳景観は、今もなお鮮明に再現することができる。原板の大半は冠氏の 30冊にも及ぶ著書の図版に使用されたもので、被写体が放つ魅力がそう させているのか、亡くなってから40年以上経過しているにもかかわら ず、今なお資料借用や写真掲載などの依頼が絶えない。

生誕130年を迎えた昨年度末、原板寄託先の東京都写真美術館と逝去 地である北区飛鳥山博物館では、冠氏の写真資料を核とした企画展が催 されたが、同資料の利用・活用は今後も継続されるであろう。保管の任 にあたっている東京都写真美術館に感謝しつつ、日本山岳史を説明する うえで欠くことのできない同資料を、当会の貴重な財産として将来に向 けて大切に守っていきたい。



出 つ 相

発

間 別

事 た

を書

れ

7



大正14年8月黒部峡谷下廊下 完瀕の際に撮った写真

日本山岳会会報 山 831号

2014年(平成26年)8月20日発行 発行所 公益社団法人日本山岳会 $\mp 102 - 0081$

東京都千代田区四番町5-4 サンビューハイツ四番町 TEL 東京(03)3261-4433 FAX 東京(03)3261-4441 発行者 日本山岳会会長 森 武昭 編集人 柏 澄子

E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp 印 刷 株式会社 双陽社

が ス 登 ス ブ 山 付 ツ 登

寄付金募集 隊た際のに 0 きで クも 楽 は Щ 急き 迫 は Ĺ 井 報告 開 つ み で \mathcal{O} 7 設由 ょ を 検索 生部 お 15 さ 樹 巻 見 ま n 頭 つ 進 女 け 記

知らせもあ す Ĺ 隊 て 長。 が てくだ 15 備 子 の模 ます 4 壮

2 ょ 日 1 6 7 8 は 台 月 から 11 風 $\stackrel{\circ}{\mathrm{H}}$ 行さ は、

る

たら

害も

あ \mathcal{O}

つ 雨

登

れ山風

そ

ま

で多く

強

65

は校

ま

つ

ただな

か

0

そう

地

も少

んくな 茰

自 なくさ た。

は

中 災

止

を余儀

逆らえ

また逆

5

う

手

でも

61 65 かろう。

そ

h

な

日

は

い。思

なな